ウイルス感染症対策：

ウイルスは、呼吸をする空気を介して感染が拡がります。

かぜはコロナウイルス以外のたくさんのウイルスにより発病します。

かぜのウイルスの中ではｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞウイルスのみ治療薬がありますが、発熱1日で服用を始めないと、体の中にウイルスが増えてｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ治療薬が効かなくなります。

来年になれば、コロナウイルスも現在のｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞウイルス同様の取扱になると思われますので、落ち着いて対応することが望まれます。

**①仕事場で**、 **②日常生活**

風通しの良い作業場 密閉空間（事務室等） 人ごみにでない

作業によりマスク きちんとマスク装着 人ごみに出る場合は

装着が困難であり、　　　することが大切 きちんとマスク装着

呼吸漏れや鼻マスク

等でマスク防止は 手洗い励行、

困難 什器等は市販の5％ハイターを

 100倍希釈して（1000mlペットボト ル水にキャップ1杯入れて0.02%液

ガーゼマスクによる とする）又は100円ショップのスプ

くしゃみ防止とノド レーに詰替えて使用（皮膚火傷・什器

を暖める程度が無難 表面を傷つけるのに注意）、

 塩素系の代わりに薬局で100%アル コールを購入して70％に希釈して使 用可能

**③発熱時**：

開業医受診

　

ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等の検査・治療

自宅待機\*、37.5℃以上4日継続

長岡保健所（帰国者・接触者センター 0258-33-4932）電話相談

長岡日赤病院受診

コロナウイルス検査：検査陽性時、感染症法で公費治療

\*年休対応、

自宅待機を命じた場合は3日間休業手当対応（会社側の考え、就業規則に従って）、

4日以降は健保で傷病手当対応、

コロナウイルスの規定はありませんが、参考に、ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞは発熱後5日、下熱後2日は就業制限